

モニタリングサイト1000について

<調査の目的>

- ・分布を中心とした把握を行ってきた従来の自然環境保全基礎調査に加え、国土の自然環境の質的・量的な劣化を早期に把握することにより、自然環境保全施策を効果的に進めるとともに、地域の自然環境保全計画や環境影響評価の基礎資料として活用。
- ・地域の専門家の参加を得たデータ収集体制を構築し、自然環境の把握に係る調査を将来にわたり継続。

<調査方法とサイトの配置>

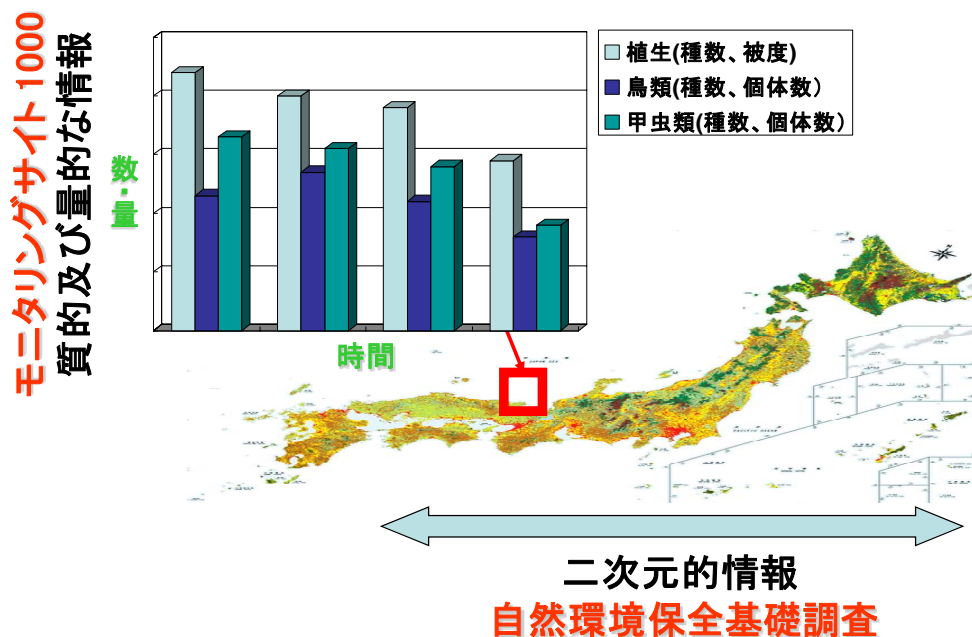
全国1000箇所を目安に、国土生態系10区分等の国土全体の自然環境の分布状況を考慮しつつ、森林・湿地等の生態系タイプ毎に調査サイトを配置。生態系タイプ毎に適切な調査項目を設定しているところ。平成19年3月現在で718サイトを設置済み。

<実施体制>

環境省（生物多様性センター）から各種コーディネータ団体を通じ（民間請負）、地域の専門家や市民等の参画を得ながら各サイトにおける調査を実施。

<調査期間と内容の公表>

- ・100年以上にわたる長期継続調査を目標とする。
- ・調査結果は調査内容ごとに取りまとめ、ホームページ等を通じて公開を予定。



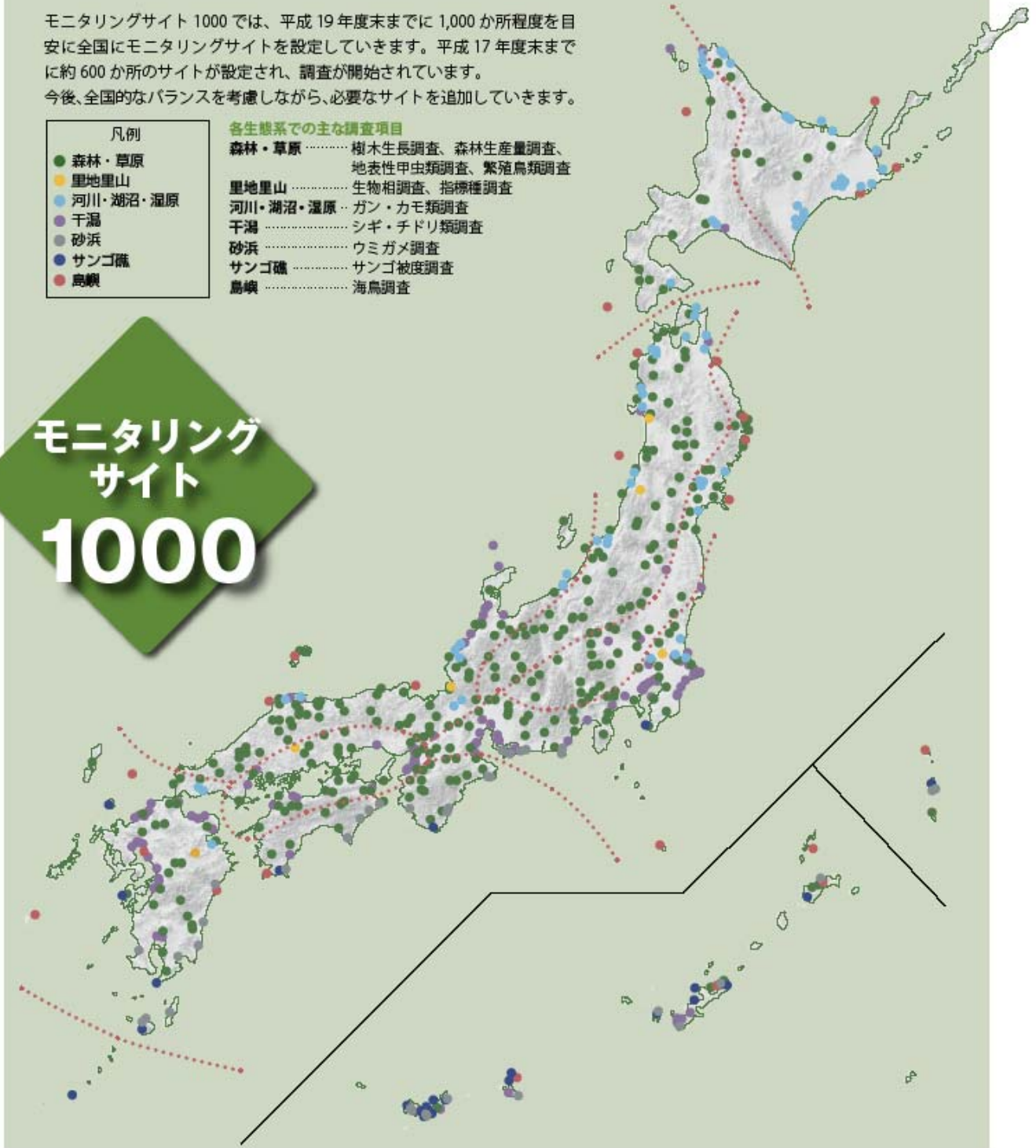
モニタリングサイト1000のイメージ

モニタリングサイト1000では、平成19年度末までに1,000か所程度を目安に全国にモニタリングサイトを設定していきます。平成17年度末までに約600か所のサイトが設定され、調査が開始されています。今後、全国的なバランスを考慮しながら、必要なサイトを追加していきます。

凡例	
● 森林・草原	
● 里地里山	
● 河川・湖沼・湿原	
● 干潟	
● 砂浜	
● サング礁	
● 島嶼	

各生態系での主な調査項目	
森林・草原	樹木生長調査、森林生産量調査、地表性甲虫類調査、繁殖鳥類調査
里地里山	生物相調査、指標種調査
河川・湖沼・湿原	ガン・カモ類調査
干潟	シギ・チドリ類調査
砂浜	ウミガメ調査
サング礁	サング被度調査
島嶼	海鳥調査

モニタリング
サイト
1000



モニタリングサイトの分布状況 (平成17年度末現在)

表 モニタリングサイト1000 調査項目及びサイト設置状況

生態系タイプ		調査サイト カテゴリー	主要調査項目	サイト数		調査主体	
				2007年 3月現在	2007年度 (予定)		
陸域	森林	コアサイト (毎年調査)	①植生概況調査 ②毎木調査 ③落葉落枝調査 ④地上徘徊性甲虫類調査 ⑤陸生鳥類調査	16	2	研究者	
		準コアサイト (5年毎に調査)	①植生概況調査 ②毎木調査 ③陸生鳥類調査	19	4	研究者	
		一般サイト (5年毎に調査)	①植生概況調査 ②陸生鳥類調査	385	42	市民調査員	
	里地	コアサイト	①人為的インパクト調査 ②草本植物調査 ③水環境調査 ④指標動物調査 (6調査項目)	14	5	市民調査員	
		一般サイト	コアサイトの9調査項目の中から一つ		150	市民調査員	
陸水域	湖沼 湿原	コアサイト	検討中		30	検討中	
		一般サイト	①植生概況調査 ②ガンカモ類調査	80		市民調査員	
海域	沿岸・浅海域	砂浜	①海浜概況調査 (面積、植生、砂粒度組成) ②ウミガメ産卵上陸状況調査 ③後背地植生調査	41		市民調査員	
		磯	検討中		10	検討中	
		干潟	コアサイト	検討中		10	検討中
			一般サイト	①干潟概況調査 ②シギ・チドリ類調査	111		市民調査員
		アマモ場	検討中		10	検討中	
		海藻藻場	検討中		10	検討中	
		サンゴ礁	①概況調査 (底質、底質中懸濁物含有量の計測) ②サンゴ被度、生育型、オニヒトデ個体数調査等	24		研究者	
海域	島嶼のうち 小島嶼	①植生概況調査 ②全生息鳥種調査 ③対象種調査	28		研究者		
合 計				718	273		